

コース 35 なるさわみね 鳴沢峰

リーダー CL T/Y SL T/H N/S
 実施日 平成20年11月10日(月) 天候 曇り時々小雨
 参加者 23(男性 6 女性17)
 グレード B上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
咲花駅	9:05	9:15	
鉄塔一本目	9:50	9:55	
鉄塔三本目	10:50	10:57	
鳴沢峰山頂	12:05	12:45	昼食
鉄塔二本目	13:50	13:55	
馬下保養所	14:57	16:10	新潟交通バス
馬下駅		16:36	列車乗車時解散

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 平日の登山、良く刈り払いされた登山道は当パーティーの占有状態でした。
- ・ 時折小雨もパラツキましたが、風もなく、暖かく、全山錦の紅葉、名物急登の咲花コースでしたが、弱音を出すメンバーもなく予定時間に山頂に到着。
- ・ 昼食時は小雨も止み、五頭山を始め三川山系の山々の眺望を楽しむことが出来ました。
- ・ 下山時は馬下保養センターで温泉と生ビールで気分爽快、列車利用で登れる鳴沢峰は左利きの方にお勧めコースです。



「鳴沢峰に参加して」

(1334) T/H

JR新津駅発 8時38分 快速列車 あがの号 会津若松行きに乗車。車内は参加の皆さんで新津ハイキングクラブの貸し切り列車の様。今回の参加は 23名。咲花駅 9時05分到着。リーダーの挨拶の後、ストレッチをしてから、いよいよ出発です。心配された空模様も雨が止み曇り空。



咲花からの登山口は、咲花温泉側の JR の踏切を渡ってからと、馬下駅側の JR の踏切を渡ってからの登山口があります。

今回は、馬下駅側からの踏切を渡って一路登山道へ。この道は国土地理院の地形図に載っておらず、電力会社送電線の巡視路の様で、途中までコンクリート舗装されています。

舗装が切れ山道に入ったところから雨が当たってきました。皆さん、雨具の着用。杉林を抜け暫くすると、電力送電線鉄塔 NO.1 に到着。咲花温泉側の登山道と合流します。

[電力送電線鉄塔：電力送電線が、小山田部落の新潟変電所から阿賀野川と平行に、何本か登山口から頂上間に張られております。登山道の途中には、電力送電線鉄塔が設置されており、登山口側から頂上に向かい鉄塔 NO.1～NO.3 と呼称しました。]

ここからいよいよ本格的な登りが始まり。

ほぼ予定時間に電力送電線鉄塔 NO.2 到着。

呼吸を整え鉄塔 NO.3 を目指します。雨も小降りになりました。ここからさらに続く急登、何時来てもこの急登には骨が折れます。

ふと振り返るとガスの晴れ間から、紅葉真っ盛りの五頭連峰、雄大な大河・阿賀野川のパ



阿賀野川、菱ヶ岳、五頭連峰を望む

ノラマが眼に飛び込んできます。まだまだ続く急登を頑張って、電力送電線鉄塔 NO.3 到着。



急登も終わるころ漸く「五葉コース」の分岐に到着、山頂まではあと一息です。山頂に全員到着のころには、雨もすっかり上がり、皆さん思い思いにランチタイム。充分な栄養補給後、下山開始。出発前に記念撮影です。雨がポツポツあたってきましたが、大したことはなさそうです。落葉の絨毯を踏みしめながら、「五葉コース」へ 15 分ほど下った分岐から、馬下保養センターを目指します。急な下りが続きます。皆さん慎重に足取りも軽そう。順調に下山、「鹿返道」に到着で

す。その頃には雨もあがってきました。雨具を脱ぎ身軽になって、さらに続く下り坂を慎重に下り、馬下保養センターへ全員、無事到着です。温泉に入り、今日一日の快い疲れを癒して貰いました。

JR 馬下駅発 16時36分に乗車、解散となりました。リーダーならびに参加者の皆さん、お疲れ様でした。また、お世話様になり大変有難うございました。